

女性農業者の ネットワークの広がりに向けて ～交流会を開催しました～

女性農業者が自身の活動の中で抱える課題や女性固有の思いを共有し、ネットワークを広げることを目的として、2月5日(水)に、「沖縄地域女性農業者交流会」を開催し、県内の女性農業者34名に御参加いただきました。



第一部では、N.GROWTH株式会社の代表取締役の桑原ナミ氏から、「消費者に伝わる農産物の販売戦略」農業経営に女性の視点を！」と題して、講演いただきました。消費行動を起こすのは女性であり、女性の視点がこれからの農産物販売の要となること、6次産業化では、商品のターゲットや販売場所・用途・量・金額のバランスが大切であることなどをお話しいただき、「参加者の皆さまが生み出す素敵な農産物に、これから付加価値をつけて、さらに多くの消費者へ届けてください」と力強いエールをいただきました。



講演の様子



講師の
桑原ナミ氏

第二部では、石垣市で繁殖牛経営を行う眞榮城美保子氏から、「つながる広がる楽しむコミュニティづくり」と題して、自らの活動を紹介いただきました。大阪府出身の眞榮城さんからは、同世代の女性との交流を目的として平成26年に石垣島で「牛ガール」を結成したこと、県の事業を活用した先進地視察、他県女性グループとの交流会及び飼養管理の講習



活動紹介の様子



畜産農家の
眞榮城美保子氏

の提案をいただきました。次のステップとして、活動の輪を広げることや沖縄地域の女性農業者のネットワークづくりに向けた熱い想いを伝えていただきました。

続いて、「女性が活躍できる農業の未来」をテーマに、ワークショップを行いました。参加者が持参した農産物や加工品を試食しつつ、リラクセスした雰囲気の中で、参加者からは、「地産地消が進むように、新しい食べ方や売り方を工夫したい」、「沖縄らしい特産品を広げる発信力が必要」、「農業未経験の女性でも支援が受けられるような助け船を出して欲しい」といった様々な意見・要望が出され、子ども連れの方も含めた交流会はとても盛り上がりしました。

会などに参加して女性農業者との交流を深めたことなどを話しいただきました。また、コミュニティ作りは、「緩いステップで行うこと、世代間の隔絶をなくすこと、組織外にアドバイザリーを確保すること」などが大切であると



ワークショップの様子

また、会場では、農業女子プロジェクト*について、パネルや成果品などを展示して取組の紹介を行いました。

本交流会が、沖縄地域の女性農業者の更なるネットワークづくりにつながることを期待しています。

農林水産部では、今後も女性農業者の活躍を積極的に推進していきます。

※農業女子プロジェクト

女性農業者の知恵を様々な企業の技術・アイデアなどと結びつけ、新たな商品やサービスを創造し、社会に広く発信することを通じて、社会全体での女性農業者の存在感を高め、女性農業者自らの意識改革・経営力の発展を図る取組です。



集合写真

農林水産部経営課

☎098-866-1628